

# 東京むさしの籠

## 特集－JA 東京むさし

東京都の真ん中に位置する武蔵野、三鷹、小金井、国分寺、小平。この5つのエリアにある農業協同組合（JA）が1998年に合併し、JA 東京むさしが発足した。その後、2012年5月に小金井市にJA 東京むさし本店を建設し、いくつかの拠点に分散していた本店機能を一カ所に集約した。

Photo by Shinken-chiku-sha





## 農住混在のまち

JA 東京むさし管内は、都心までのアクセスが良く、緑豊かな住宅地として高い人気を誇る地域として知られている。もともと、雑木林などが広がる武蔵野丘陵を開墾した農業地域だったが、昭和30年頃から、宅地化が進み、現在のような宅地と農地が混在した都市形態となった。住宅に囲ま

れた中庭や公園のように農地が点在し、土があり空がひらけている風景は、閑静な街並みのうまいとなっている。

一方、それらの農地は中小区画である場合が多く、他地域のように規模を活かした農業経営を望むことはできない。地域性に見合った方策を模索した結果、現在の「都市型農業」のスタイルができあがった。



主要道路から脇道に一本入ると、宅地と共存する農地の様子が広がる

# 地元を潤す地産地消



ファーマーズ・マーケット「ムーちゃん広場」  
生産者と消費者をむすぶ交流の場を提供している



国分寺市で農業を営む榎戸武司さん  
収穫した作物を「むーちゃん広場」に直接納入し、  
自らの手で陳列まで行う

## 産と消の交差点

JA東京むさしは、スケールよりも付加価値を強みとして組合員である農家をサポートしている。

その取り組みの一つとして、各エリアの直売所であるファーマーズ・マーケット『ムーちゃん広場』の運営がある。管内が大きな消費地であることから、農産物を中央卸売市場ではなく地元に向けて出荷するという、エリア内での販売環境を創出したのである。

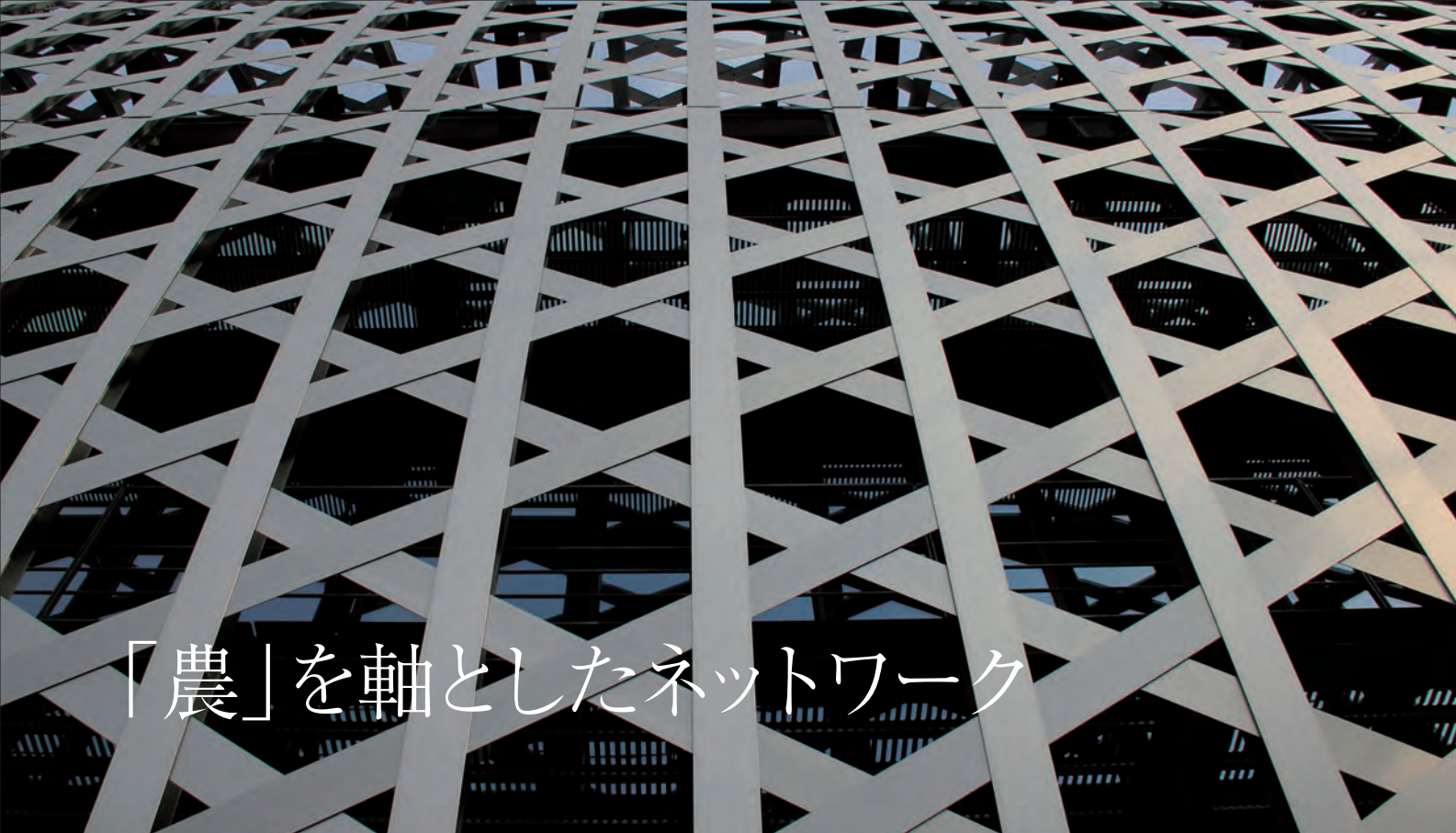
さらに、集客イベントの開催やWebサイトなどの広報の充実をはかることで、若い主婦層や新しい住民を含めて広く認知され、ムーちゃん広場はにぎわいを増してい

る。単に店舗を構えるだけではなく、生産者と消費者の双方に喜ばれる場づくりを実現した。

また、地場産野菜を地域の小学校へ納入するなど、農家が計画的に作付し生産した野菜を、余すことなく消費者に届けられることができる。地産地消の活性化を促し、農業の安定経営につながっている。

「JAの直売所があるから、我々生産者は、市場価格に左右されない適正な価格で作物を出荷でき、消費者も地元の新鮮な野菜を手にすることができる。そしてなにより、作り手の顔が見えるという安心が、消費者にとっての一番の魅力となっているのではないだろうか」と、国分寺市で代々農業を営んでいる榎戸さんは語る。





# 「農」を軸としたネットワーク

ECO がごルーバーによる直射日光の遮断

## 自然に配慮する

2012年5月、小金井市にJA東京むさし新本店が完成した。アルミのルーバーが印象的な外観は「都市型JAのシンボル」というコンセプトでデザインされた。保守的な「農協」のイメージを一新し、地域農業を支える都市型JAのあり方を示したいという思いが込められている。同時に「背負いかご」をイメージした籠

目のルーバーには、地域の伝統を大切に、次世代のために環境を守っていこうという姿勢が表れている。

本店建設にあたり、JA東京むさしは徹底的に環境性能に配慮した。太陽の恵みと水に育まれる農業を支える組織として、自然環境を守るという使命感は誰よりも強い。

「これまでの、全部明るい・全部涼しいという常識を忘れるところから始めまし

た。天井に照明機器は一切ありません。個々に手で必要十分な執務環境にコントロールできます。建物をすっぽり覆うルーバーは、ガラス張りの開放感と採光を保ちながらも、強い陽射しを和らげるので、効果的に空調を稼働することができます。我々は農業を守るために、自然と人間の調和がとれた執務空間を目指しました」と、本店の移転プロジェクトを中心となって進めた総合企画部の本多氏は語る。



写真左：アッパライイトによる天井間接光とタスクアンビエント照明方式で高い省エネ性を実現  
写真中央：空間の中央に配置された「マルチストリート」可動式のガラスパーテーションによって構成され、職員同士のコミュニケーションを生み出し、活力ある執務空間を生んでいる  
写真右：職員が利用する食堂はリング型のLED照明で明るさを確保



カワセミをデザインしたJA東京むさしのシンボルマークと地域住民が利用できるフリースペース



歩道に面した建物の1階部はガラス張りで構成されている



農機センター。農機具の修理やメンテナンスを行い、組合員を支援している



本店の倉庫。農機具の取扱いや肥料の販売を行う

## 地域との交流

JAの主要事業のひとつである金融事業は、多くの地域住民も准組合員(農業従事者以外)として利用している。JA東京むさしは、組合員が栽培したブルーベリーの収穫体験付き定期積金などを企画し、特色を打ち出している。

さらに、地域農業への関心と理解を深めてもらうために、行政とも連携した収

穫体験ツアーなどを行っている。

「宅地と農地が共存し、地産地消が根づいた現在の都市農業スタイルは、地域の理解と応援があつて確立されたものです。これからも、JA東京むさしは組合員である農家をバックアップし、地域のみなさんとともに、より豊かなまちづくりに貢献したいと願っています」



地産産野菜を使った料理教室の開催を定期的に行っている(国分寺支店・セミナールーム)

## JA東京むさし



鹿島建物管理概要	管理開始	2012年5月
	管理内容	定期管理
	管 轄	関東支社 多摩出張所
建築概要	施設名称	J A東京むさし本店
	所 在 地	東京都小金井市貫井北町 1-10-1
	事業主体	東京むさし農業協同組合
	主要用途	事務所、倉庫、農機修理
	設 計	株式会社久米設計
	施 工	鹿島建設株式会社
	面 積	延床面積 東棟：1,991.35㎡、西棟：2,012.26㎡
		敷地面積 東棟：1,385.49㎡、西棟：1,432.34㎡
	構 造	S 造
	主要設備概要	非常用発電機 220kVA
主要設備概要	空調設備	P A C 東棟：40 台、西棟：37 台
		氷蓄熱ユニット 東棟：6 台、西棟：6 台
		全熱交換器 東棟：28 台、西棟：23 台
	衛生設備	雑用水槽（井戸水利用を含む） 東棟：23.1㎡、西棟：24.5㎡
		加温用受水槽 東棟：0.5㎡、西棟：0.5㎡
		ガソリントラップ 東棟：50 ℓ、西棟：50 ℓ



TALK  
TO 対談  
TALK

# 存在感に磨きをかける

## 新しいイメージを守る

**総務課課長 竹内様** 本店は中央線からよく見えることもあって、竣工前に養生が取り払われたときは「あの建物はいったい何?」と、SNSなどでちょっとした話題になりました。鹿島建物さんには建物の清掃と定期的な設備点検をお願いしておりますが、建物はデザイン要素が多く、管理には苦労されているのではないかと思います。

**青山** 今までの農協のイメージとは違った、若々しく先進的な雰囲気が評判ですね。斬新な外観だけでなく、ガラス張りで見える真っ白な内装が印象的です。お客様の思いが込められた新しいJAのイメージを守ることが、我々の仕事です。

**泉** 清掃時には、屋内の白さを保つために清掃器具にカバーをかけ、傷や汚れが壁に付着しないように細心の注意を払っています。外からも美しい内装がきれいに見えるように、ガラスは年に4回、定期清掃を行っています。



## 省エネ性能を存分に発揮させる

**泉** 設計段階から省エネ志向・管理運用が考え抜かれた建物ですので、建物管理側としては非常にありがたいです。

**竹内** ルーバーはアルミ素材ですが、雨だれが裏側に周るように設計されているので汚れが目立たず、メンテナンスもこの二年間、特に必要はなかったですね。そろそろ手入れが必要な頃でしょうか。

**泉** 現状は問題なさそうですが、外装のルーバーは足場を組んでの大きかりな清掃になるので、計画的な準備が必要です。

**青山** 現場での管理だけでなく、本社で管理上のデータを把握して、改善点があればお客様にフィードバックさせていただきます。

**総務課 本多様** エネルギー消費量を月次で報告していただいているので、こちらも省エネの指標として利用し、成果を実感できています。



「省エネ・照明デザインアワード2012」の公共施設・総合施設部門受賞

## ワンストップ対応の安心感

**竹内** 移転前は空調・電気・清掃など、複数の管理会社に委託していたので、総務部門としてマンパワーの負担を感じていました。今は、鹿島建物さんの担当者に声をかければワンストップで対応してもらえるのでシンプルです。

**本多** ゴミの分別から日常清掃、設備メンテナンスについても、相談にのっていただき助かりました。

**泉** JA 東京むさし様は、日常的に省エネや施設環境の維持に気を遣っておられるので、我々もその姿勢を共有し、建物管理の側面からサポートさせていただきます。

写真左より  
JA 東京むさし  
総合企画部 総務課 課長代理  
建設専任担当 本多 聡様

JA 東京むさし  
総合企画部 総務課  
課長 竹内 義員様

鹿島建物総合管理株式会社  
関東支社 多摩出張所  
所長 青山 雅光

鹿島建物総合管理株式会社  
関東支社 多摩出張所  
担当 泉 健太郎